

平成30年度岩手県高等学校新人大会ヨット競技

レース公示（実施要項）

1. 期 日 平成30年10月19日（金）～10月21日（日） 3日間

2. 会 場

- (1) 開会式 リアスハーバー宮古 管理棟前駐車場
- (2) 競 技 宮古湾
- (3) 閉会式 リアスハーバー宮古 管理棟前駐車場

3. 競技種目

- (1) 420 級
- (2) レーザーラジアル級

4. 競技日程

月日(曜)	時刻	内容
10月19日(金)	13:55 17:00	トライアルレース スタート予告信号 監督・主将会議
10月20日(土)	8:30 9:55	開会式 第1レース スタート予告信号
10月21日(日)	9:25 16:00	その日の最初のレース スタート予告信号 閉会式

(天候その他により、日程・レースエリアを変更することがある。)

- (1) レースは、男女同時スタートで8レースを行う。ただし、各種目が成立するためには、レースが1回以上成立しなければならない。
- (2) 1日の最大レースは、6レースとする。
- (3) レースの日程の変更等は、前日の18時00分までに公式掲示板に掲示される。

5. 競技規則

- (1) 本大会は2017-2020年セーリング競技規則（以下「規則」という。）に定義された「規則」を適用する。
- (2) 付則Pを適用する。

6. 競技方法

- (1) 420 級は、1艇4名以内の選手登録とし、1チームを構成する。チーム内でのレースごとのスキッパー、クルーの分担は任意である。なお、選手登録の変更は原則として認めない。
- (2) レーザーラジアル級は、1艇1名の選手登録とする。なお、選手登録の変更は原則として認めない。
- (3) 順位は、各種目別に決定する。
- (4) 本大会が成立するためには、それぞれのクラスにおいて1レースを完了することを必要とする。
- (5) 得点は、規則付則A4による。ただし、成立したレースが4回以下の場合は、すべてのレースにおけるその艇の合計得点とする。成立したレースが5回以上の場合は、その艇における最も悪い得点の1レース分を除外した合計得点とする。
- (6) 種目変更の経過措置としてFJ級のオープン参加を認める。スタートは420級と同時とし、各要件は420級に準じるものとする。

7. 引率・監督

- (1) 引率責任者は、校長の認める当該校職員とし、選手の全ての行動に責任を負う者とする。引率責任者は、監督を兼ねることができる。
- (2) 男女の出場校ごとに監督（当該校職員）が付き添わなければならない。男女の監督を兼ねることができる。

8. 参加資格

平成30年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。

9. 参加制限

艇ごとに選手登録を行い、複数の艇に同一選手の登録はできない。

10. 参加申込

(1) 申込方法

参加申込書に必要事項を記入し、下記(2)へ郵送または電子メールで送信すること。

(2) 申込先

〒027-0052 宮古市宮町2-1-1

岩手県立宮古高等学校内 岩手県高体連ヨット専門部 佐藤 竜介

E-mail : ptf18-sato-ryuusuke@iwate-ed.jp

(3) 申込期限

平成30年10月12日（金）必着

11. 参加料

種目	参加料
420級	5,000円（1艇）
レーザーラジアル級	2,000円（1艇）

監督・主将会議の際に持参すること。

12. 計測

(1) 基本計測が済んでおり、平成29年度に岩手県ヨット連盟による計測が行われた艇体、セールを用いること。

(2) 規則78及び装備規則A.2に留意し、計測証明書を提示すること。ただし、艇体番号とセール番号が異なる場合、双方の計測証明書を提示すること。

(3) レース委員会はいつでも計測を行うことがある。

13. 表彰

各種目の1位～3位に賞状を授与する。

14. 連絡責任者

佐藤 竜介（宮古高校） TEL:0193-62-1812 FAX :0193-63-6447

15. 連絡事項

(1) レース艇

ア 使用する艇は、学校の所有艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇とし、各クラス協会公認標準艇でなければならない。

イ 艇体番号・セール番号は参加申込時に登録し、それ以降の変更は認めない。同一のセール番号を複数の艇に使用することはできない。

ウ 10月20日（土）と10月21日（日）の2日間は、レース以外は艇の出艇を禁止する。

(2) 帆走指示書

ア 帆走指示書は10月15日（月）までに配布する。

イ 帆走指示書の内容に関する質問は、10月18日（木）までに文書で受け付ける。

また、その回答は10月19日（金）に公式掲示板に掲示される。

(3) コース

帆走するコースはトラペゾイドコースまたはソーセージコースを予定し、詳細は帆走指示書で規定する。

(4) ライフジャケット

各クラス協会規則に記載された最低基準を満たす適正なものを着用すること。

(5) 参加者は、健康保険証を持参すること。

(6) 競技中の疾病傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。